

指導者職氏名 教諭 (T 1)

教諭 (T 2)

1 日時 平成年月日() 時分～時分(第校時)

2 場所

3 学部・学年・学級 学部第 学年 組(男子 名, 女子 名 計 名)

4 単元(題材)名 「 」

5 単元(題材)設定の理由

○児童生徒観

○単元(題材)観

○指導観

6 単元(題材)目標

7 指導計画 「 」全 時間

次	時	学習内容	付けたい力との関連			
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的な態度	本時の目標

主体的な態度：主体的に学習に取り組む態度

8 本時の目標

(1) 全体の目標

(2) 個々の目標

児童生徒名	これまでの様子	目 標
A		
B		
C		

【平成 31 年度広島県立呉特別支援学校 学習指導案】

(3) 各児童の評価基準 (ルーブリック)

児童生徒名	目標 (主体的に学習に取り組む態度)	
A	◎	
	○	
	△	
B	◎	
	○	
	△	
C	◎	
	○	
	△	

◎ よくできた	期待する様子に、何かプラスαが見られる。
○ できた	期待する様子が見られる。
△ もう少し	期待する様子が見られるが、未到達な部分もある。

9 準備物

10 指導過程

学習活動	指導上の留意点 (課題, ○支援, ☆評価)			
	A	B	C	全体

11 年間指導計画 ※添付

12 配置図

記入例

○学部○○科学習指導案

指導者職氏名 教諭 ○○ ○○ (T 1)
教諭 ○○ ○○ (T 2)

- 1 日 時 平成○年○月○日 (○) ○時○分～○時○分 (第○校時)
- 2 場 所 第○学年教室
- 3 学部・学年・学級 ○学部第○学年○組 (男子○名, 女子○名 計○名)
- 4 単元(題材)名 「 ●●●●●● 」 ※年間指導計画から転記
- 5 単元(題材)設定の理由

○児童生徒観 (以下の項を段落立てて記述する。段落初めの, ア, イ, ウ…の表記は削除する。)

ア 人数及び学級編制

イ 児童生徒の障害の実態, 発達の様子及び特性等及び一般の実態(集団観も必要に応じて記入)

※ 「児童Aは, ～」という記述が一般的。

ウ 児童生徒と単元(題材)との関わり(既習内容, 「知識・技能」, 「思考・判断・表現」, 「態度」を踏まえた実態を記述)

※ 特に, 児童生徒に「付けたい資質・能力 (主体的に学習に取り組む態度)」を踏まえて, 現在定着している力について記述する。

エ 単元(題材)で「付けたい資質・能力 (主体的に学習に取り組む態度)」からみた児童生徒の課題

○単元(題材)観 (以下の項を段落立てて記述する。段落初めの, ア, イ, ウ…の表記は削除する。)

ア 学習指導要領の目標及び内容との関連

イ 単元(題材)で取り扱う内容の概要(児童生徒の課題との関連で設定した理由等)

ウ 児童生徒が単元(題材)を学習する意義(単元(題材)の価値及び妥当性)

※ 単元(題材)の価値及び妥当性については, 「学習者基点の学び」「能動的な学び」「深い学び」を促す学習活動が展開できる単元(題材)となっていることを記述する。

○指導観 (以下の項を段落立てて記述する。段落初めの, ア, イ, ウ…の表記は削除する。)

ア 単元(題材)を効果的に展開するための指導方針(指導形態, 指導方法, 障害に応じた指導上の留意点, 配慮事項)

※ 「効果的に」とは, 「学習者基点の学び」「能動的な学び」「深い学び」を促す指導が充実するという意味である。

イ 具体的な支援の手立て, 教材・教具の工夫

※ ア, イについてはまとめて記し, 「第○次では, ～」という段落立てで記述する方法も可

※ 障害の実態から特別に配慮を要する場合は個別で記述する。(特に, 生徒Aについては～)

ウ その他, 留意事項

6 単元（題材）目標

年間指導計画に記載している目標をすべて転記

7 指導計画 「 単元（題材）名 」全○時間

本時は、「主体的な態度」が◎である授業とする。

次	時	学習内容	付けたい力との関連			
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的な態度	本時の目標
一	1	●●●●●●●●●● ●●●●	○			・「知識・技能」に係る目標を記述。
	2	●●●●●●●●●● ●●●●	○			・「知識・技能」に係る目標を記述。
二	3 ～ 5	●●●●●●●●●● ●●●● ●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●● (本時 2/3)		○	◎	・「主体的な態度」に係る目標を記述。本時のメインの目標となる。 ・「思考力・判断力・表現力」に係る目標を記述。
	6	●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●● ●●●●				語尾は、 “～できる。”

1 時間に 2 つ以上の評価項目がある場合は、メインとなる項目を◎とする。

主体的な態度：主体的に学習に取り組む態度

8 本時の目標

(1) 全体の目標

7 指導計画の「本時の目標」を転記する。

(2) 個々の目標

児童生徒名	これまでの様子	目 標
A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習活動における様子（観点別評価項目に係る記述をすると分かりやすい） ・ 各教科等，単元に係る既習学習での様子（達成できている内容） ・ 本時の目標に係る課題となる様子 	※「全体の目標」が『～積極的に表現することができる』ならば，Aがどのような様子や態度（言動等）であれば積極的であると判断できるような，具体的な目標を明記する。 ※「全体の目標」を2つ設定している場合，それに対応して2つ設定する。
B		

語尾は、
“～できる。”

(2) 個々の目標のうち、「主体的に学習に取り組む態度」に関する目標について記述する。

(3) 各児童の評価基準（ルーブリック）

児童生徒名	目標（主体的に学習に取り組む態度）	
A	◎	下の凡例を基に、具体的な評価基準を記入する。 「○」が本時目標に対応する。
	○	
	△	
B	◎	
	○	
	△	
	◎	

語尾は、
“～できる。”

◎ よくできた	期待する様子を、何かプラスαが見られる。
○ できた	期待する様子が見られる。
△ もう少し	期待する様子は見られるが、未到達な部分もある。

9 準備物

10 指導過程 ※児童生徒人数が多い場合、A3 横置き別紙対応。

学習活動	指導上の留意点（課題，○支援，☆評価）		
	A	B	全体
1 挨拶 3 「学習活動の流れ」を記述 ・「具体的な活動」を記述	課題は、 『8 本時の目標 ○個々の目標』を 転記。 ○課題に対する支援内容を記述。（支援者） ☆課題に対する評価を記述。	※基本的には、 課題，○支援，☆評価の記述の流れとなる。	・基礎的環境整備等、 全ての児童生徒に係る支援内容を記述。

(例)
3 世界の音楽の旅
・音楽を聴く。
・音楽を演奏する。

(例)
曲のリズムに合わせて楽器を鳴らす。

課題は、
“～する。”

☆評価は、
“～できたか。”

○Aの正面で、リズムに合わせてタクトを振る。(T1)
☆曲のリズムに合わせて楽器を鳴らすことができたか。

【平成 31 年度広島県立呉特別支援学校 学習指導案】

11 年間指導計画 ※添付

12 配置図 ※添付可